

船橋市立リハビリテーション病院では、急性期病院の多職種の方々をお招きした病院見学会を開催しております。

この2年間は、コロナ禍によりWebでの開催を余儀なくされていましたが、今年は人数制限をしながらも、3病院8名の方々にご来院いただくことができました。

この病院見学会では、急性期病院の方々のニーズにお応えできるよう、当院のサービスの特徴や入院・外来ソーシャルワーク支援のご紹介、病棟見学、リハ見学、患者様の食事の試食等のプログラムをご用意しております。

参加者の方々からは、実際にご紹介いただいた患者様のリハビリの様子を見ていただくなかで「やっぱり船リハへ紹介してよかった」「できるだけ早く回復期へ転院することが大切だと思った」といった声が聞かれました。その他にも、アンケートでは「環境面・設備面が整っていて、とても良いと思った」「患者様や家族への説明が、より明確にできる」「重症患者も急性期の段階で諦



めずに、回復期へ紹介してほしい、という言葉が印象に残った」等のお言葉もいただきました。

地域連携支援室では、急性期の皆様に私たちの実践を知っていただくことで、患者様・ご家族へご紹介される際の一助になればと思いながら、この病院見学会を企画しております。ぜひ、ご活用ください。

患者サービス向上の取り組み

少しでも患者さまが当院をご利用しやすくなるよう、新たに2つのサービスを開始しました。是非、ご利用ください!

船リハWi-Fi
使えます!



無料Wi-Fiサービス

院内で快適に過ごしていただける環境整備のため、無料Wi-Fiサービスの提供を5月から入院患者さま向けに、7月から外来患者さま(・お付き添いの方)向けにそれぞれ開始しました!
※ご利用の際は利用規約に同意いただき、自己責任において他の方の迷惑にならないよう、マナーを守ってご利用ください。

入院医療費保証サービス



入院する際に
・独居のため連帯保証人がたてられない方
・できれば連帯保証人をたてたくない方
(親族が疎遠である場合、心配をかけたくない場合など)
が安心してご入院いただけるよう、8月から「入院医療費保証サービス」の提供を開始しました。

入院時に保証会社へ保証料(1万円)を支払うことで連帯保証人や保証金が不要となります。患者さま・ご家族からの導入希望の声もあり、少しでも入院しやすくなれば、と開始しました。ご利用される方が増えているサービスです。

院長の梅津です。

ようやく猛暑の夏が通り過ぎ、日中の暑さは残るものの朝晩は肌寒さを感じる季節となりました。気温が下がると鍋物、宴会に相応しい時期になりますが、新型コロナによりもたらされた世の中の自粛ムードは、感染症分類の変更が追い風となって急速に緩和されました。私たちの所属する医療界においても、最近は大規模な学会が対面式、かつ懇親会付きで当たり前のように開催されるようになってきました。身近なところでは、船橋近隣のリハビリ関連職種との勉強会、講演会、また施設間の交流会なども徐々に復活、多くはすでに対面式で行われています。会場の雰囲気や熱い心意気を伝えるにはやはり対面式に限るとの意見がある一方、忙しい日常業務の中で研鑽を積む機会を拡げるためには、アクセスほぼ0分のオンライン形式を希望する人も多いようです。多様性が尊重される現代では、会議も飲み会も目的に応じていろいろなやり方があって良いのだと思います。ただし、新型コロナも、そしてインフルエンザも消滅したわけではありませんので、感染対策はお忘れなく。

寄贈

当院の保育室「輝Kids(かがやきっす)」に、男子プロバスケットボールチーム千葉ジェッツ所属、原修太選手の社会貢献活動「ハラの輪」の一環としてミニゴールセットを寄贈いただきました。写真は千葉ジェッツ非公認キャラクター「マスク・ド・オッチャー」から寄贈いただく場面。

石川誠の 思い出を 語る会



水間理事長から参加者へのご挨拶

8月20日(日)、永田町駅から徒歩3分の場所にある都市センターホテルにて「石川誠の思い出を語る会」が開催されました。2021年5月24日に永眠した当法人会長である故石川誠の遺言でもある「みんなが集まり酒を酌み交わして楽しむ会を開いてほしい」「しみりとした会にはして欲しくない」に応えるために、特にご縁のあった皆様(輝生会職員含む)119名が参加しました。医療・介護業界においてはまだまだ感染対策が必要な中ですので「盛大に」とまではいきませんが、縁の深い方によるスピーチでの石川会長の知られざるエピソードを肴に、石川会長が好きだった銘柄の日本酒を頂きながら、皆で思い出を大いに語り合う明るく楽しい会となりました。

船橋市からは健康福祉局長、健康部長、健康政策課長にもご参加いただきました。局長より、今回ご参加が難しかった市長のメッセージとして、石川会長が船橋市立リハビリテーション病院の指定管理者として船橋市内に急性期から回復期・生活期へと継続される地域リハビリテーションの構築・普及啓発を行ったこと、医療介護の垣根を超えた多職種連携ネットワークの構築に尽力し、在宅医療ひまわりネットワーク設置の礎を築いたことへの感謝が届けられました。

石川会長が亡くなり早や2年が過ぎましたが、私たちは会長の残した「リハビリテーション・マインド」(「正しさを追求する精神」「チャレンジ精神」「損得抜き精神」「障害を有する人々と共に歩む精神」「チームアプローチ One For All, All For One」)を常に心に抱きながら、引き続き、船橋市立リハビリテーション病院が質の高いリハビリテーション医療サービスを提供できるよう、精進していきます。



参加者全員での記念撮影



梅津院長の「ポイントヒア」で閉会

保育室『輝kids(かがやきっず)』の紹介

「明るく・たくましく・生きる力のある子ども」へ

船橋市立リハビリテーション病院では子どもを持つスタッフが安心して働けるように「輝kids(かがやきっず)」という保育室を運営しています。

輝kidsでは、社会の中で「明るく・たくましく・生きる力のある子ども」を保育目標にして、基本的な生活習慣を身に付けながら「人との関わり方」を育てる保育を行っています! また年間をとおして製作や季節の行事を行うことで、子ども達が季節の移り変わりを感じながら過ごせるようにしています。誕生月のお子さんがいる時は、みんなでお誕生日会も行っています。

日中は、「子どもの発達を促す日常活動」として、以下の活動も取り入れる事で、子どもの成長を促しています。

◇リトミック(リズム遊び/表現遊び/わらべ歌/楽器遊び等)

◇発達に応じた体育遊び(ボール遊び等)

◇知育玩具を取り入れた遊び(絵合わせカード/手先を使った遊び等)

この他にダンボール遊びや大型積み木などを用いて体全体を使う遊びも取り入れています。また、お子さんの成長に合わせて寝相アートや顔はめパネルなど楽しむことができます。

☆輝kidsでの様子をお子さんの成長記録としてアルバム制作を行っています☆

保育のプロならではの目線でお子さんのアルバムを作成するので、家庭の中とは少し違う表情を見ることができると思います!

利用者の声

- ・少人数制なので、かなり手厚い保育をしていただけたと思います! 月齢の低い子どもでも安心して預けることが出来ました。
- ・先生の目が一人一人に行き届いているので、小さいころから工作などに挑戦させていただきました。本当におすすめです!
- ・年齢別のクラスではないので、お兄ちゃん、お姉ちゃんからの良い刺激を受けることができ、成長の促しになったと思います。
- ・職場と同じ敷地内で預けることが仕事をすうえで安心につながりました。



4月 / 入室祝い



5月 / 子どもの日



7月 / セタまつり



8月 / 水遊び(寝相アート)



9月 / お月見



10月 / ハロウィン



12月 / クリスマス



2月 / 節分



3月 / ひなまつり